

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	5月28日(金) ~30日(日)	第51回通常総会および第20回年次学術講演会(西部支部共催)	福岡市	5号2ページ参照
	5月30日(日) ~6月1日(火)	見学会(西部支部共催)	九州地方	5号2 "
	8月26日(木) ~27日(金)	昭和40年度夏期講習会	東京	5号3 "
関東支部	5月15日(土)	学生のための映画会	土木学会	4号5 "
	6月18日(金)	講演会「海外進出の問題点」	"	5号5 "
	6月19日(土)	学生のための映画会	"	5号5 "
	7月7日(水)	シールド工法の現状と問題点	"	5号5 "
そ の 他	5月20日(木)	日本工学会第12回見学会	東京	4号99 "
	6月3日(木) ~4日(金)	第3回接着研究発表会		5号6 "
	9月6日(月) ~8日(水)	第15回応用力学連合講演会	東京大学	5号3 "
	9月9日(木) ~10日(金)	第9回材料試験連合講演会	東京	5号4 "
	お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ■中部支部お知らせ ■西部支部事務局変更 ■40年度会員名簿発行と実費の一部ご負担のお願い ■38th Annual Conference Water Pollution Control Federation ■第3回世界地震工学会議のプロシーディングス購入について ■土木図書館講堂公開 ■第2回国際水質汚濁研究会議報告書ご希望の方へ ■昭和40年度(第8回)技術士試験について ■工学研究者の最近の研究題目調査について 			
<p>■土木工学ハンドブック正誤表完成</p> <p>大変長らくお待ちせ致しましたがこのたび土木工学ハンドブックの正誤表がようやく完成いたしました。A5判40ページで図版の訂正も入っております。ハンドブックお買求めになった会員には別途出版社より送付させましたが、未着の方は至急下記へお申出下さい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p style="text-align: center;">東京都港区赤坂溜池5 KK技報堂出版部ハンドブック係 Tel. 583-3834・8585</p>				
<p>■土木図書館へ蔵書ご寄贈方お願い</p> <p>土木図書館が業務を開始してから4ヵ月、利用者も日増しにふえ関心も非常に高まって参りました。学会としての創立50周年記念事業費予算より相当な額を図書整備費に回し、皆様のご期待にそえるような土木工学総合図書館の実現へ努力いたしております。しかしながら過去数十年間にわたり発刊された文献はぼう大な数に上り、さかのぼって収集することはとてい不可能であります。そこで会員各位から、蔵書の一部を学会へご寄贈いただくことができれば、より有効な活用が計れるものと考え、お願い申上げる次第です。</p> <p>重複をさけるため種類、内容などご寄贈いただけるもののリストをお送り願えれば図書館で整理し改めてお願いすることになります。とくに明治・大正・昭和初期、太平洋戦争時の文献はきわめて不足しておりますので、先輩会員各位のご協力を切望いたします。</p> <p>ご連絡は土木図書館(東京都新宿区四谷1丁目・351-5130)へお願い致します。</p>				
出版案内	<p>■工事報告 大鳥セミアーチダム完成</p> <p>このたび電源開発KK編集による標記の図書が土木学会より刊行されました。限定出版につきご希望の方は早めに土木学会へお申込み下さい。</p> <p>体 裁: B5判 226ページ 折込付図11枚 原色版カラー カバー付 口絵入り</p> <p>定 価: 1400円(〒150円) 会員特価: 1200円(〒150円)</p>			

第 51 回通常総会および第 20 回年次学術講演会

◀ 5 月 28 日 (金) ~ 30 日 (日) ▶

昭和 40 年度土木学会通常総会 (第 51 回) および第 20 回年次学術講演会はつぎの日程で行なわれます。詳細のプログラムは例年のとおり会員に別途郵送いたしました。綴込ハガキ委任状に学生会員は不要とありますが誤りですので出席できない学生会員もぜひ 5 月 28 日までにご提出下さい。なお、参加申込み、見学会、宿泊切符の申込み締切が 4 月 15 日で締切りましたが、お申込みになっていない方は西部支部へご連絡下さい。

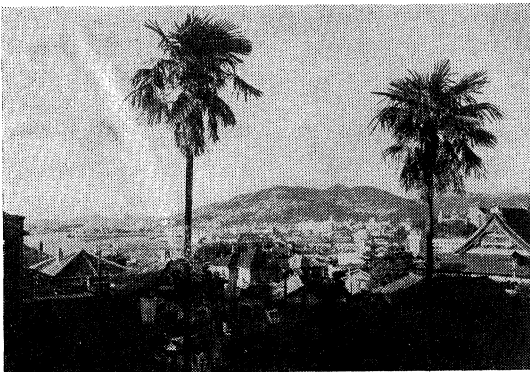
1. 通常総会：1965 年 5 月 28 日 (金) 14.00~17.00 明治生命ホール (福岡市中島町)
2. 総合講演会：1965 年 5 月 29 日 (土) 9.00~12.00 福岡市民会館 (福岡市天神 5 丁目)

9.10~ 9.40	橋梁事故物語	土木学会会長	福 田 武 雄
9.45~10.15	豊太閤と博多一博多の太閤町割について	九州大学教授	鏡 山 猛
10.20~10.50	北九州地方の総合開発について	九州・山口経済連合会専務理事	浜 正 雄
10.55~11.25	新潟地震をかえりみて	元東京大学地震研究所長	高 橋 竜 太 郎
3. 年次学術講演会：1965 年 5 月 29 日 (土) 13.00~17.00 } 九州大学工学部
 5 月 30 日 (日) 9.00~17.00 }
4. 懇 親 会：1965 年 5 月 29 日 (土) 18.00~19.30 天神ビルホール 会費 500 円
5. 見 学 会：1965 年 5 月 30 日 (日) ~ 6 月 1 日 (火)

A 関門北九州コース：5 月 31 日発	下 関 解散	17.00	会費	500 円
B 西九州コース：	雲仙泊	長 崎	"	5 000 円
C 中九州コース：	内牧泊	別 府	"	5 000 円
D 南九州コース：5 月 30 日夜行	霧島泊	鹿 児 島	"	6 000 円

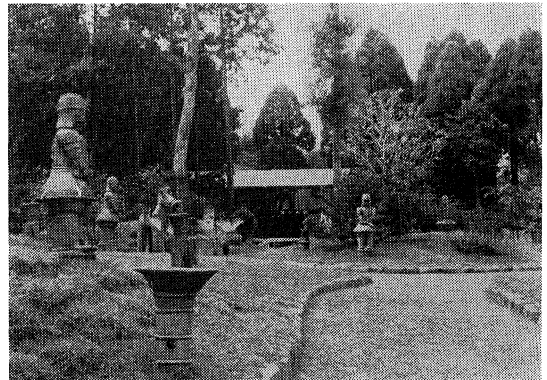
長 崎 市

長崎は 1889 年に市制がしかれ、人口は約 40 万を数え、日本の西端にあたる最古の貿易港であり、1945 年 8 月 9 日に原子爆弾が投下され市街の 1/3 が焼土と化したことなどあまりにも有名である。写真は南山手より長崎港を望んだものであり、長崎港の背後には丘陵性の山がせまり、市街は山腹の斜面にひろがっており、世界一を誇る造船量や、史跡・名所が沢山あり美しい港町である。



はにわ公園 <宮崎市>

はにわ公園は宮崎市にあり、西都原古墳の出土品にヒントを得て作り始めた製品の一部分が写真のように並べてある。宮崎市は 1924 年に市制がしかれ、人口は 16 万を数え県下第一の都市であり、町全体が静かな雰囲気をもっており、大通の両側の商店街には高層建築が少なく、市の北端近くには「神武さま」と呼ばれ親しまれている宮崎神宮がその荘厳な神殿をうっそうと茂る森のなかにしめている。



昭和 40 年度夏期講習会

◀ 8 月 26 日 (木)~27 日 (金) ▶

今年の夏期講習会は 8 月 26, 27 日の 2 日間下記のとおり開催することに決定致しましたので、多数ご参加下さるようご案内致します。

1. 会 場：東京都豊島区 豊島公会堂
2. テー マ：構造工学における最近の諸問題
3. 参加費：未 定
4. 内 容：

8 月 26 日 (木)

9.30~9.40	会長あいさつ		土木学会会長
9.40~10.30	最近のコンクリート舗装	建設省土木研究所	伊 東 茂 富
10.40~11.30	軽量コンクリートの諸問題	東北大学教授	後 藤 幸 正
11.40~12.30	高張力異形鉄筋について	東京大学教授	国 分 正 胤
13.30~14.20	最近の支保工および型わく	首都高速道路公団	上 前 行 孝
14.30~15.20	最近のコンクリート混和材料	国鉄鉄道技術研究所	三 浦 一 郎
15.30~16.20	最近の注入工法における諸問題	国鉄鉄道技術研究所	樋 口 芳 朗

8 月 27 日 (金)

9.30~10.20	最近の鋼構造の継手	京都大学教授	小 西 一 郎
10.30~11.20	高張力鋼使用上の問題点	建設省土木研究所長	村 上 永 一
11.30~12.20	薄板構造の設計施工における諸問題	東京大学教授	奥 村 敏 恵
13.20~14.10	鋼杭基礎工法における諸問題	八幡製鉄KK	石 井 靖 丸
14.20~15.10	鋼橋架設上の問題点	横河工事KK	田 中 五 郎
15.20~16.10	構造物の耐震設計および工法	東京大学教授	久 保 慶 三 郎
16.10~16.20	閉会あいさつ		

第 15 回応用力学連合講演会講演募集

◀ 申込締切 5 月 31 日 (月) ▶

1. 共 催：日本学術会議力学研究連絡委員会・応用物理学会・造船協会・土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本航空学会・日本数学会・日本物理学会
2. 幹事学会：土木学会（東京都新宿区四谷 1 丁目 電 351-5138）
日本物理学会（東京都文京区本富士町 1 東京大学理学部内 電 813-5526）
3. 期 日：1965 年 9 月 6 日 (月), 7 日 (火), 8 日 (水)
4. 会 場：東京大学工学部
5. 申込要領：講演申込みは 1 人 1 題とし、共催学会所属の会員は当該学会を通じて申込み、共催学会会員以外の方は直接幹事学会に申込むこと。講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。申込みは B 5 版の用紙に横書でつぎの事項を記載すること。
(ア) 講演題目、(イ) 概要 200 字以内、(ウ) 講演部門および項目名（プログラム編成の都合上「項目一下記参照一」も必ず記載して下さい）、(エ) 講演者ならびに連名者（協力者）の各氏名（連名で講演する場合は登壇者に○印をつけること）・勤務先・通信先・学会員資格・年齢、(オ) スライド（35 mm に限る）の枚数
注：講演時間は 1 題目 15 分、その後討論 5 分
お申込みの際は付記をご覧下さい。
6. 講演部門および項目：
(第 1 部) 固体（弾性学、塑性学、粘弾性学、構造力学、材料強度、土質力学、摩擦など）
(第 2 部) 流体（流体力学、空気力学、電磁流体力学、水力学、水理学、気象学、潤滑など）
(第 3 部) 熱（熱、熱力学、伝熱、物質輸送、熱機関、熱焼など）
(第 4 部) 一般（一般力学、振動、波動、応用数学、自動制御、組織工学、計算機など）
7. 申込期日：5 月 31 日 (月) 所属学会必着

8. 論文抄録集：聴講者用のテキストとして論文抄録集を作ります。講演者は内容のわかる抄録原稿をつくり、講演申込学会へ下記により必ず期日までに原稿を提出して下さい。

(ア) 論文抄録(原稿)提出期日 6月30日(水)

(イ) 必ず所定の原稿用紙を用いる。用紙は申込学会から講演申込者に送付します。所定以外の用紙に書いたものは受けません。

(ウ) 原稿は用紙2枚以内(標題・図表・写真を含めて約3200字)に明瞭にスミ書きすること。

(エ) 印刷はオフセットによるもので写真も入れられます。

(オ) 原稿の書き方は用紙とともに送付します。

【付 記】 日本学術会議力学研究連絡委員会からのお知らせ

日本学術会議力学研究連絡委員会は、本講演会の欧文論文集を刊行する予定であります。

本欧文論文集の原稿に関する執筆要領、用紙などについてはおって同委員会から連絡します。

第9回材料試験連合講演会講演募集

◀ 申込締切 6月21日(月) ▶

共 催：日本学術会議材料試験研究連絡委員会，化学工学協会，金属表面技術協会，高分子学会，造船協会，土木学会，日本鋳物協会，日本化学会，日本機械学会，日本金属学会，日本建築学会，日本航空学会，日本材料学会，日本セメント技術協会，日本鉄鋼協会，日本非破壊検査協会，日本木材学会，溶接学会，窯業協会

幹事学会：日本機械学会，日本鉄鋼協会，日本化学会，日本材料学会

日 時：1965年9月9日(木)・10日(金)

会 場：東京都内

講演申込：1. 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申し込み参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申し込むこと。

2. 講演内容はすでに発表されたものでも差しつかえないが，最近の研究に属するものが望ましい。なお研究内容は材料の諸物性，諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する研究を包含する。

3. 講演時間は約20分(討論ふくむ)の予定。

4. 講演の採択などは材料試験連合講演会運営委員会に一任されたい。

5. 申込用紙はB5版とし，つぎの事項を必ず記載すること。

a. 講演題目 b. 梗概約200字 c. 講演部門名 d. 講演ならびに連名者の各氏名，勤務先，通信先，学会員資格，年齢(連名の場合には登壇者に○印をつけること) e. 講演題目，氏名，勤務先には，英文を付記すること f. スライド使用の有無(大きさは35mm) g. 欧文論文集(付記参照)へ投稿希望の有無

注：第1部 金属材料

第2部 非金属材料(有機物，無機物)

第3部 一般(材料試験機，その他)

講演前刷：聴講者のテキストとし，あわせて，講演時間の短縮，掛図などの節約のため，講演者全部の講演前刷を作るので，講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ(参加学会会員以外の方は申し込んだ幹事学会へ)提出すること。

a. 講演前刷原稿提出期日 7月20日(火)

b. 前刷原稿は規定の原稿用紙2枚以内(図表，写真をふくめて邦文で約2600字)に明りょうにスミ書きし，なるべく余白を避けるように留意のこと(講演前刷はオフセットになるので写真も入れることができる)。

c. 所定原稿用紙は講演申込み者に所属学会から送り，所定用紙以外に書いた原稿は受けない。

(付記) 1. 発表論文は Proceedings of the Ninth Japan Congress on Testing Materials にのせ，諸外国にも領布の予定である。

2. 本論文集に登載される論文は今回発表されたもので，欧文で未発表のものに限る。

3. 投稿希望者は別に送られる規定原稿用紙に執筆し，講演会当日までに日本材料学会(京都市左京区吉田泉殿町1の101 電話 京都 77-1912 番)に提出すること。

4. 当日以降の提出原稿は受理しない。また，不備な原稿は返却することがある。

関東支部行事案内 (東京都新宿区四谷1丁目 土木学会事業課内・電 東京 351-5138)

(1) 講演会「海外進出の問題点」 ◀ 6月18日(金) 10.00~16.00 ▶

1. 場 所: 土木学会土木図書館講堂
2. 定 員: 200 人
3. 参 加 費: 100 円 (当日払)
4. 題 目, 講 師:

① 10.00~10.50 日本の海外進出に思う	総理府資源調査会委員 安 芸 皎 一
② 11.00~11.50 海外進出に関する国の方針と開拓	建設省技監 畑 谷 正 実
③ 13.00~13.50 土木業界の海外進出は成功するか	鹿島建設KK取締役副社長 石 川 六 郎
④ 14.00~14.50 海外土木の実情	大成建設KK海外部次長 宇野沢 亮之助
5. 映 画: 15.00~16.00 題 未 定
6. 申 込 み: 往復はがき(1人1枚)で6月8日(火)までに関東支部へお申し込み下さい。返信を参加券としてお送りいたします。参加費は講演会当日会場受付で頂きます。満員になり次第締切りますからお早目にお申し込み下さい。

(2) 学生のための映画会(第6回) ◀ 6月19日(土) 14.30~16.30 ▶

1. 場 所: 土木学会土木図書館講堂
2. 上映映画: ① 銀座の地下を掘る(土木学会創立50周年記念国土開発映画コンクール最優秀賞作品)
 ② 大阪環状線—西成編(土木学会創立50周年記念国土開発映画コンクール準優秀賞作品)
 ③ 高速モノレールシステムの技術解説
 ④ 日立アルウエーグ
3. 定 員: 180 人
4. 参 加 費: 無料, 一般会員の参加歓迎

(3) シンポジウム「シールド工法の現状と問題点」 ◀ 7月7日(水) 9.30~16.00 ▶

1. 場 所: 発明会館ホール(東京都港区芝西久保明舟町17・電 502-0511)
2. 定 員: 300 人
3. 参 加 費: 700 円~1000 円(テキスト代をふくむ)テキストのみの価格 500~800 円の予定
4. 題 目, 講 師:

I セグメント設計上の問題点			
A 構造関係	(1) 東京大学 久保慶三郎	B 土質関係	(3) 京都大学 村山朔郎
	同 (2) 早稲田大学 村上博智	同	(4) 早稲田大学 森 麟
II シールド施工計画上の問題点			
A 一 般	(5) 帝都高速度交通営団工事部長	西 嶋 国 造	
B 国鉄新総武線計画	(6) 国鉄東京工務局長	田 中 行 男	
III シールド製作上の問題点			
	(7) 三菱重工業KK機械事業部顧問	小 竹 秀 雄	
IV 東京におけるシールド工事の現状			
A 上水道のシールド工事	(8) 東京都水道局建設部設計第2課長	中 川 義 徳	
B 下水道のシールド工事	(9) 東京都下水道局第4建設事務所工事課長	糸 崎 郁 二	
C 地下鉄のシールド工事	(10) 帝都高速度交通営団5号線第6工事区長	塚 田 章	
5. 申 込 方 法: 参加費, テキスト価格の決定額とともに来月号に発表いたしますが, 参加ご希望の方は予約申込み(適宜の方法で)をして頂ければ優先受け付けいたします。

中部支部お知らせ

昭和 40 年度研究発表会申込みについて

発表希者は研究発表題目、勤務先、連絡先を明記のうえ 6 月 15 日までに下記へお申込み下さい。

申込先：名古屋市中区南外堀町 6 の 1 愛知県土木部道路建設課内 青木文夫氏

西部支部事務局変更

西部支部は 4 月より下記へ事務局が変更されましたのでお知らせします。

福岡市舞鶴町 1 丁目 4 の 1 (電 福岡 74—1972) 土木学会西部支部

第 3 回接着研究発表会

◀ 6 月 3 日 (木) ~ 4 日 (金) ▶

第 3 回接着剤研究発表会が関係 13 学協会の主催により下記のとおり開催されますので多数ご参加下さい。

1. 会 場：日本消防会館内日消ホール (東京都港区西久保明舟町 18・電 501—1361—5)
2. 特別講演：6 月 3 日 15.30~16.30 耐熱性接着剤 東京大学教授 工学部 岩 倉 義 男
6 月 4 日 16.00~17.00 接着の速度 大阪市立大学教授 工学部 井 本 立 也
3. 一般講演：6 月 3 日 9.30~15.30 15 題 6 月 4 日 9.30~16.00 16 題
4. 講演要旨集：300 円 (当日会場にて頒布)
5. その他：詳細は日本接着協会 (東京都目黒区大岡山 2 の 12 の 1・東京工業大学高分子工学科 畑研究室 電 726—1111 内 3341) へお問合せ下さい。

昭和 40 年度会員名簿発刊と実費の一部ご負担のお願い

本年は 2 年に一回の会員名簿発行年にあたります。11 月中に会員各位のお手許にとどくよう諸準備にとりかかりますが、最近における諸物価の高騰は印刷費、用紙代などに特にいちじるしく、送料も遠隔地においては 1 部 170 円という費用となります。A 5 判 700 ページの会員名簿を無料で会員各位に配付することが本旨ですが、実費が 1 部約 600 円かかり、経営上非常に困難な状況となりましたので、本年度は発送費ということで 150 円ずつ会員各位にご負担いただくこととなりました。誠に申し訳ありませんが近日中にご請求申し上げる昭和 40 年度会費 1800 円と一諸に合計 1950 円をお払込み下さい。

なお名簿の完全を期するため日常の異動については、ただちにご連絡下さるようお願い申し上げます。

■38 th Annual Conference Water Pollution Control Federation のお知らせ

期 日：1965 年 10 月 10~14 日

会 場：Traymore Hotel and Convention Hall-Atlantic City, New Jersey

主 催：New Jersey Water Pollution Control Association

詳細は土木学会編集課 (351) 5 1 3 0 までご照会下さい。

■第 3 回世界地震工学会議のプロシーディングス購入について

本誌 50 巻 3 号会告でお知らせした標記の件についてニュージーランド地震工学国内委員会から最近 (4 月 13 日) 下記の連絡がありましたのでお知らせ致します。

1. 申 込 先：The Administrative Secretary Third World Conference on Earthquake Engineering
P.O. Box 5180 Wellington New Zealand
2. 申 込 時 期：希望部数ともに至急お申込みされたい。
3. 予定価格および刊行時期、送金方法は申込み後に本人に直接通知する。

土木図書館講堂公開

土木図書館講堂は図書館活動にふさわしい催物について広く一般に公開いたします。文化施設を有効に活用するため会員各位ならびに関係方面のご利用を期待いたします。使用料その他は下記のとおりです。

土木図書館講堂使用料

講 堂 (定員 200 人)

使用者	平 日				土 曜 日				日 曜 日, 祝 日			
	午前	午後	夜間	全日	午前	午後	夜間	全日	午前	午後	夜間	全日
	9.30~ 12.30	13.00~ 16.30	17.00~ 20.00	9.30~ 20.00	9.30~ 12.30	13.00~ 16.30	17.00~ 20.00	9.30~ 20.00	9.30~ 12.30	13.00~ 16.30	17.00~ 20.00	9.30~ 20.00
一 般	3 500	4 500	5 000	10 000	3 500	5 000	5 500	12 000	4 500	5 000	5 500	13 000
関 係 団 体	2 400	3 000	3 500	7 000	2 400	3 500	3 800	8 500	3 000	3 500	3 800	9 000

附 属 設 備

ワイヤレスマイク	1 回 につ き	500
スライドプロジェクター	"	1 000
持込電気器具電力料	1kW 時 につ き	50
暖 房 料	1 時 間 につ き	500
冷 房 料	"	250

- 注：1. 講堂の使用は図書館活動にふさわしい催物であること。
 2. 上表の関係団体とは、官公庁、公共企業体、政府関係機関、および関係学協会（本会共催を含む）とする。
 3. 日曜日、祝日は原則として使用を認めない。
 4. 所定の時間を越える使用は原則として認めない。
 5. 使用申込は原則として使用日の2ヵ月前から受付ける。
 6. 使用申込は所定の申込書に使用料を添えて提出すること。
 7. すでに納めた使用料は特別の事由があると認められた場合は半額を返金する。
 8. 講堂使用に関連して会議室を使用する場合の料金は別の定めによる。

■第2回異形鉄筋に関するシンポジウム講演概要頒布

昭和 37 年 5 月の第 1 回シンポジウムにつづいて第 2 回シンポジウムが去る 4 月 23 日に開かれ、標記の図書が刊行されました。本概要集には最近の異形鉄筋の研究・実験等の報告 19 編が図・表を用いてわかりやすくとりまとめられていますのでご希望の方は学会へお申込み下さい。

体 裁：B5判 42 ページ オフセット印刷

定 価：300 円 送料 30 円

■第2回国際水質汚濁研究会議報告書ご希望の方へ

昨年 8 月 24~29 日東京で開催された標記の会議の報告書が「東京大会報告」として、日本国内運営委員会編により土木学会より刊行されました。本書は会議の準備段階から閉会に至るまでのすべての事項をとりまとめたもので、なかでも本会議で発表された主論文 48 編とそれに関する討議をまとめた論文抄録は文献としてもきわめて価値の高いものと思います。本書ご希望の方には 500 円の実費でおわけ致しますので土木学会へお申込み下さい。

体 裁：B5判 160 ページ・本文 8 ポ 2 段・真珠アルトン紙使用、ビニールカバー付